

## 平成 25 年度日本水産学会東北支部大会の開催について

東北支部支部長 小谷祐一

本年度の東北支部大会を下記の通り開催いたしますので、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

### 記

**日 時** 平成 25 年 11 月 8 日(金)・9 日(土)

**会 場** 岩手県盛岡市大通会館リリオ 3 階イベントホール(盛岡市大通一丁目 11-8, 電話 019-623-2520)

### プログラム

(1)ミニシンポジウム「沿岸漁業における東日本大震災からの復興の現状と展望」(東北大学 マリンサイエンス復興支援室共催)11 月 8 日(金)13:00-17:00

【企画責任者】原 素之(東北大学)・後藤友明(岩手県水技セ)

【趣旨】東日本大震災発生以降、沿岸漁業は様々な支援を受けながら復旧・復興が進められてきた。震災発生から 2 年半が経過した現在、沿岸漁業の復旧・復興については、順調に進んでいる面、一向に進んでいない面など様々である。この間、行政、試験・研究、ボランティアなど様々な立場から支援が行われてきた。これらの支援は、直接的な漁業復旧のサポートから、個人による応援的な活動まで多様である。被災地における漁業の復興を達成させるためには、震災復旧の正しい現状を把握するとともに、これまで続けられてきた支援がどの程度有効に機能してきたかを検証する必要がある。そして、今後どのような取り組みが必要かを整理し、漁業復興に向けた個々の取り組みを有機的・効果的に機能させることが重要となる。そこで、本シンポジウムでは、沿岸漁業における震災復旧・復興の現状評価と水産研究分野での取り組みをレビューし、問題点を整理するとともに今後の展望を検討する。

### 【プログラム】

(以下、各発表タイトル、発表時間については変更の可能性あり)

- 1) 主催者等挨拶・趣旨説明
- 2) セッション 1 大震災からの沿岸漁業の復旧・復興状況の現状(13:20-14:20)

「岩手県の状況について」 大村益男(岩手県農林水産部)

「宮城県の状況について」 山岡茂人(宮城県水技セ)

「福島県の状況について」 鷹崎和義(福島県水産事務所)

3) セッション 2 大震災以降行われてきた試験研究の取り組み(14:40-16:20)

「震災による漁場環境の変化」 神山孝史(水研セ東北水研)

「岩手県水産技術センターにおける震災対応の取組」について 井ノ口伸幸(岩手県水技セ)

「大震災直後における水産試験研究機関の役割」 酒井敬一(宮城県水技セ)

「福島県水産試験場の取り組み」 和田敏裕(福島県水試)

「東北マリンサイエンス拠点形成事業(海洋生態系調査)の取り組み」

原 素之(東北大学)

4) 総合討論 (16:30-17:00)

座長:原 素之(東北大学)・後藤友明(岩手県水技セ)

(2) 一般研究発表(口頭) 11月9日(土) 9:00-14:30(終了時間は演題数によって変更予定)

(3) その他

支部 幹事・連絡幹事合同会議(同会場) 11月8日(金) 17:05-17:45

交歓会(同施設内、別会場) 11月8日(金) 18:00-